

経済性と環境に優れた センサー固定用テープ

SpO2 成人用



オキシテープエコ

オキシテープエコ(以下、本品)は、C社 SpO2 ディスポーザブルセンサー 成人用(以下、センサー)の優れた測定精度を生かしながら、本品を使用 交換することにより、センサーの長期間使用が可能となりうる経済性と 環境に優れたセンサー固定用テープです。

これまでの課題

粘着力のなくなったセンサー を上からサージカルテープ等 で巻きつけると、脈波信号に 影響を与える恐れがある

リユーザブルセンサーを使用 している際、いつの間にかセン サーが外れ、鳴るべき時でない のにアラームが鳴ってしまう

長期間使用をした場合、 雑菌繁殖が疑われる臭い がする

センサーの粘着力がなくなる と交換せざるを得ないため、 コストを抑えるのが難しい

本品を使用し継続的に交換することの利点

粘着が保たれ、センサーが外れにくくなる

装着部位の衛生的な状態が保たれる

センサーの交換頻度の減少(使用状況による)

オキシテープエコ SpO2成人用 取扱説明

動画による使用方法はYouTubeで、マインヘルスケアを検索

YouTube

マインヘルスケア

検索

- センサーの剥離紙、あるいは前回まで使用した本品を剥がしたら、本品の非粘着面とセンサーの粘着面を照準の印刷に合わせてセンサーの適正な位置に貼付したあと、患者様の指に装着し、モニタリングを開始してください。
- 粘着力がなくなりましたら、テープの持ち手を持ち、ゆっくりと剥がします。この際、センサーが破損しないようご注意ください。

① 表裏、左右の向きに注意

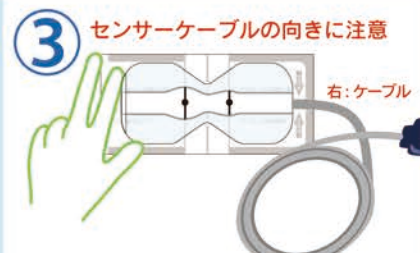


左: 白い持ち手 右: ケーブルガイド

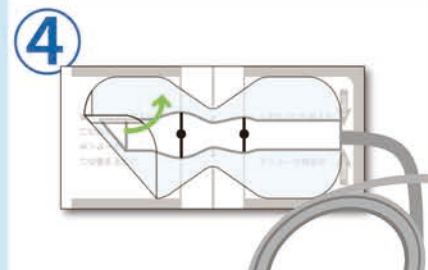
本品の剥離紙を剥がさずテーブル側(底面)にして本品を置き、左側に白い持ち手、右側にケーブルガイドラインが来るように置く(字の面が下側)



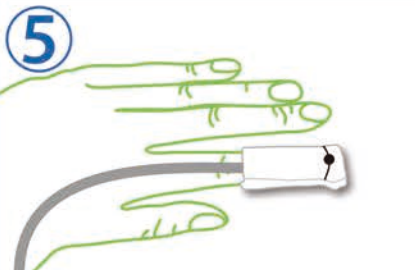
センサーに付いている剥離紙(あるいは、粘着力のなくなった使用していた本品)を剥がす。



右手にセンサーケーブルが来るようにセンサーを持ち、目安と合わせて本品と圧着させる。発光部、受光部に気泡が残らないよう注意する。



左側の白い持ち手からセンサーと一緒に台紙から剥がす。



通常と同様に患者さんに装着する。一勤務帯に一度は装着部を観察し、状態によっては装着する指を変えるなども検討する。本品の粘着力がなくなったら、新しい本品を用意し、①に戻る。

本品は2枚以上重ねないこと

センサーからの発光量の増幅を避けるため、必ず古い本品を剥がしてから新しい本品を貼ること。

貼りあわせの気泡に注意

特に、発光部 受光部に気泡が残らないよう圧着後、剥離紙を剥がす前に指でよくなじませる。

一般的名称	製品名	製品番号	仕様	クラス分類	販売単位
センサー固定用テープ	オキシテープエコ (SpO2 成人用)	OTE-CD25/24	C社製SpO2 成人用 (体重 30kg 以上用)	該当せず	24枚入り/1袋

【製品安全性】 ISO10993に基づく生物学的安全性を検証しています。細胞毒性・感作性(アレルギー反応)・刺激性が十分に低いことが確認された材料を使用しています。天然ゴムは使用しておりません。(ラテックスフリー)

【使用目的】 センサー固定用テープとして使用し、粘着力と装着部位の衛生面の保持を目的とする。

【警告】 医療機器には分類されない製品のため、創傷被覆材としての使用はできない。

【使用上の注意】

1. 本品は医療機器(センサー)との併用による補助的な製品です。
2. モニタリングの安定性、測定部位の温度の上昇の有無など安全試験は行っておりますが、モニタリングの確実性を保証するものではありません。
(安全性試験結果 <http://minehealthcare.co.jp/>)
3. 長時間貼付試験(ISO10993 取得)は行っておりますが、皮膚の脆弱な患者様や多汗の患者様などへのご使用はご注意ください。また、万が一、皮膚の発赤や極度の浸軟などがみられた場合は直ちに使用をお控えください。
4. 本品を重ねますと、発光量が増えることが考えられますので、お避け下さい。
5. 皮膚トラブルを避けるため、スタッフの勤務帯ごと、患者様の容態によりましては、より短い間隔で装着部の観察を行い、状況によっては装着箇所の変更をお勧めいたします。
6. 循環不全等による血流の滞留が懸念される患者様に対して使用する際は、特にご注意ください。
7. 小児、新生児に対して使用するセンサーを対象には作られておりません。ご注意ください。
8. 使用後の本品をセンサーから剥離する際に、センサーを破損させないよう、センサーと本品を貼りあわせる向きに十分ご注意ください。

本品を患者から剥がす際は、皮膚障害などご留意いただき、皮膚を押さえるなどし、皮膚と直角方向でなく、反対側へ剥がして下さい。剥がれにくい場合及び粘着剤の残存がみられた場合は医療用剥離剤をご使用下さい。